

『郵政資料館 研究紀要』投稿規定（平成22年度）

- 1 応募資格
「郵政事業および通信の歴史と文化に関する諸問題」に関する研究者であること。
- 2 論文等テーマ
「郵政事業および通信の歴史と文化に関する諸問題」について自由に論題を設定した研究論文・研究ノート・資料紹介などとする。
- 3 応募の条件
郵政資料館の資料、またはそれと同様な基礎資料を活用したものとする。
「日本語」で書かれたものとする。
応募は、1人1編（共同執筆は可）のみとする。
応募原稿は、未発表のものに限る。また、他の学会誌などとの二重投稿は認めない。
応募原稿の返却はしない。
- 4 論文等応募方法
論文等の投稿を希望する執筆者は、あらかじめ所定の「論文応募用紙」を編集委員会へ提出し、投稿についての許可を得ること。
- 5 論文応募用紙の入手方法
論文応募用紙は、2010年4月14日（水）午前10時以降に、下記入手先宛にて、返信用封筒（角2サイズ）を同封の上、郵送をもって請求すること。その際、封筒表には「論文応募用紙希望」と赤字で記入すること。
なお、返信用封筒は、返送先住所・氏名のほか、140円切手を貼付した上で同封すること。
送付先の記入、および切手の貼付がない場合は発送しかねる。
- 6 応募要項入手先
日本郵政株式会社郵政資料館内 「郵政資料館 研究紀要」編集委員会
〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目3番地1号
- 7 応募用紙提出方法および期限
2010年5月26日（水）午後5時必着にて、氏名・連絡先等の必要事項を記入した「論文応募用紙」を編集委員会宛に送付すること。
- 8 応募結果の通知
応募された「論文応募用紙」に基づき、「郵政資料館 研究紀要」編集委員会において、学術的な視点からの審査を行い、投稿の可否について連絡する。投稿原稿については、専門家による査読をさらに行い、掲載の可否を決定する。
なお、審査に関する問い合わせには応じかねる。
- 9 原稿提出方法および期限
2010年10月29日（金）午後5時必着にて、MS-WORD2003で読み書き可能なファイル形式で作成したファイル（図を掲載する場合は原図ファイルを含む）を保存したメディア（CD-R等）および打ち出し原稿1部を提出すること。
なお、投稿原稿は完全原稿とする。
- 10 原稿執筆要項（概要）
原稿はパソコン使用のこと。
文字量は、換算値として、論文原稿はA4用紙（1行40字×40行）15～20枚程度、研究ノート・資料紹介はA4用紙（1行40字×40行）15枚以内とする。

図表・注は枚数に含まれるものとする。

写真・図版等の掲載・転載許可は、執筆者の責任において処理すること。

詳細は投稿許可者に対し送付する「執筆要領」を参照すること。

11 提出先

日本郵政株式会社郵政資料館内 「郵政資料館 研究紀要」編集委員会

12 査読

上記9の期限までに投稿された原稿は、編集委員会が指名する専門家において査読を実施し、その結果を踏まえて編集委員会が掲載の可否を決定する。

査読の結果、掲載可となった場合でも、掲載種別（研究論文・研究ノート等の別）の変更や、投稿された原稿に対して分量や内容等の修正を求めることがある。

13 著作権の帰属

本誌に掲載された論文等の著作権は郵政資料館に帰属するものとする。